

データからたどる下水処理の歴史

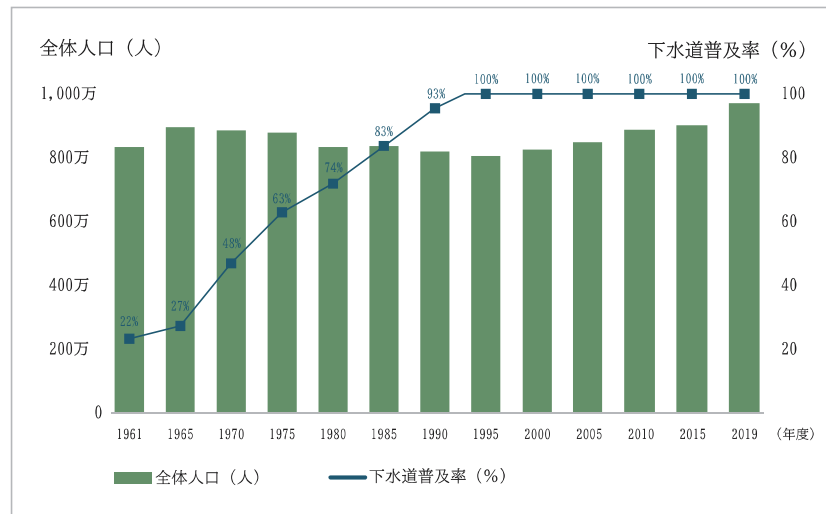
本章では、東京都下水道局発足の前年1961(昭和36)年度から発刊している下水道事業年報等のデータを用いて、区部の下水処理の歴史をたどります。

本章で使用したデータについては、下水道局のホームページでオープンデータとして公開していますので、だれでも使用できます。



QRコードを読み取ると、下水道局のホームページをご覧ください。

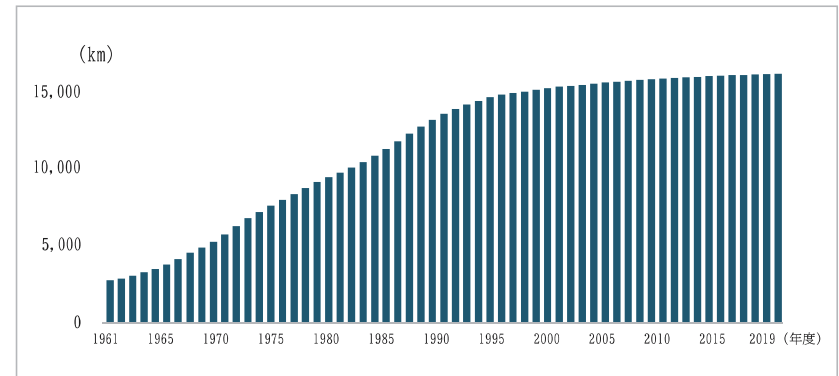
1 下水道普及率・人口



下水道局が発足した1961(昭和36)年度には22%であった下水道普及率は、33年後の1994(平成6)年度に100%概成¹を達成した。

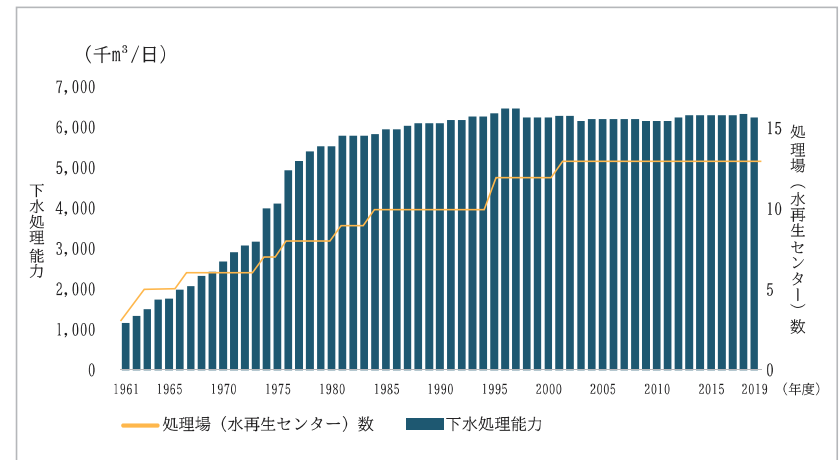
1.100%概成:下水道の人口普及率99.5%以上を100%概成としている。

2 管渠管理延長



下水道の普及と歩調を合わせ、下水道管渠延長も増大してきた。現在の管渠管理延長は約16,100kmに及び、これは東京とシドニー間を往復する距離に相当する。

3 下水処理能力の推移、水再生センター数



下水道の普及と歩調を合わせ、水再生センター(処理場数)及び処理能力も増大してきた。現在の処理能力は約630万m³/日に及び、1961(昭和36)年当時の処理能力約120万m³/日の約5倍に相当する。